

GLORY

特集1

p.03

国内
小売店で活躍するグローリー製品

特集2

p.05

海外
“One GLORY”の実現に向けて
～販売機能統合への取組み～

Contents

トップメッセージ	01
特集1	03
特集2	05
セグメント別の状況	07
財務データ	09
会社情報	10
株主メモ	

GLORY REPORT

グローリーレポート

第68期
中間報告書

平成25年4月1日から
平成25年9月30日まで

グローリー株式会社



統合効果を発揮し グローバル展開を 加速してまいります。

代表取締役社長

尾 上 宏 和

平成26年3月期上半期の経営環境と業績について

国内は金融市場と流通・交通市場が好調
海外市場は買収効果により好調で
売上・利益とも前年同期に比べ増加

当上半期の日本経済は、アベノミクスへの期待を背景として円高是正や株価回復が進み、企業収益や個人消費に改善の兆しが見られました。一方、世界経済につつま

しては、欧米では回復の動きが見られたものの、中国を始めとした新興国で成長にスローダウンの傾向が見られるなど、全体としては不透明な状況にあります。

こうした状況のなか、当社グループは、平成24年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2014中期経営計画』の2年目として諸施策を展開した結果、当上半期の連結業績は、売上高、利益とも前年同期に比べ増加しました。

セグメント別にみますと、国内市場につきましては、金融市場では、主要製品である「オープン出納システム」の販売が堅調でした。特に中小規模店舗向けのコンパクトタイプは、未導入市場に対する積極的な営業活動が新たな導入につながりました。

流通・交通市場では、飲食店や専門店における現金管理の厳正化ニーズの高まりを受け、主要製品である「レジつり銭機」の販売が飲食チェーン店等の新規受注を獲得して好調でした。

遊技市場では、パチンコホール数の減少や設備投資抑制の傾向が見られるなど市場環境は厳しく、主要製品である「カードシステム」等の販売は低調でした。

一方、海外市場につきましては、OEM商品であるATM用「紙幣入金ユニット」の販売は低調であったものの、中国を始めとする新興国で紙幣の正損選別に対するニーズを捉え、「紙幣整理機」等の販売が好調でした。また昨年7月に買収したタラリスグループの販売が、当期は期初から加わったうえに、円安効果もあり、市場全体の売上としても前年同期に比べ大幅に増加いたしました。しかしながら、タラリスグループ買収に伴うのれん等の償却費負担により、利益は減少いたしました。

『2014中期経営計画』と 海外事業統合の進捗について

海外事業の統合を推し進めるとともに 国内事業では市場の深掘りと 未導入市場への積極的な事業展開を推進

当期は、『2014中期経営計画』の2年目として、引き続き計画達成に向けた各施策を展開しております。

まず、海外事業につきましては、タラリスグループとの事業統合に積極的に取り組んでおります。例えば、販売面においては、両社グループの海外現地法人の再編を進め、本年4月からGlory Global Solutionsが販売を統括する体制に移行いたしました。また、保守事業においても、コールセンターや修理センターの統合等を順次進めているところです。さらには、生産拠点の見直しや資材調

達の一本化、開発テーマの統一による開発効率の向上や、両社グループの保有技術を有効活用した製品開発の推進等にも取り組んでおります。

一方、国内事業につきましては、引き続き各市場の深掘りと未導入市場への積極的な事業展開や新製品の投入を進めております。金融市場では、「オープン出納システム」の新規受注獲得に向け、コンパクトタイプの提案営業を強化するとともに、「重要物管理機」等のセキュリティ関連製品の拡販にも取り組んでおります。また、流通・交通市場では、「レジつり銭機」の拡販に向け新製品を投入いたしました。今後は、飲食店やコンビニエンスストアなど、まだ導入が進んでいない業態への事業展開に注力してまいります。遊技市場では、パチンコホール向けの新システムを投入することにより需要を喚起し、販売の拡大を図っております。

今後の経営環境・市場動向を踏まえた 当期の業績見通しと配当について

業績目標の達成に向けて 各市場において販売拡大に注力

下半期の見通しにつきましては、国内では、アベノミクス効果に加え消費税増税前の駆け込み需要も期待され、引き続き景気は緩やかに回復するものと思われれます。一方海外では、中国を始めとする新興国の経済成長に陰りが見られるなど、厳しい状況が予想されます。

このような経営環境の下、海外では、買収により拡大した販売網をフルに活用することにより、販売シナジーの創出に注力してまいります。また国内では、未開拓市場の攻略に向けた営業活動を強化し、販売の拡大を図ってまいります。これらの取組みを着実に推し進め、通期の連結業績につきましては、売上高2,100億円、営業利益170億円、経常利益170億円、当期純利益85億円を目指してまいります。

なお、当期の中間配当は、1株につき22円とさせていただきます。期末配当につきましても、22円(年間44円)を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月期上半期の実績と通期の業績予想(連結)

()内数値は、前年同期(前期)比

	当上半期	通期(予想)	前期
売上高	963億66百万円(+22.2%)	2,100億円(+10.0%)	1,909億38百万円
営業利益	53億91百万円(+16.5%)	170億円(+17.6%)	144億58百万円
経常利益	70億14百万円(+54.4%)	170億円(+24.1%)	136億95百万円
当期(四半期)純利益	25億39百万円(+11.0%)	85億円(+23.7%)	68億73百万円

小売店で活躍するグローリー製品

スーパーマーケット、百貨店、ショッピングセンターを始めとした小売店は、いまや私たちの生活になくはならない存在となり、その店舗形態は、人々のライフスタイルの変化とともに進化してきています。一方で、市場の価格競争は厳しく、店舗経営には一層の効率化が求められ、さらに最近では業務の厳正化ニーズの高まりも見られます。こうした状況のなか、通貨処理機は業務の効率化・厳正化に貢献する製品として、広く小売業界に普及してきており、当社は、多彩な製品ラインナップとソリューション提案力で、多様な顧客ニーズに応えてまいります。ここでは、スーパーマーケットを例に、小売店で活躍する当社の製品ラインナップをご紹介します。



バックヤード

売上金入金機

各レジの現金を集め、店舗全体の売上金を集計する製品。売場やテナントの担当者が自分自身で操作できるため、専任の出納係を配置する必要がなく、業務の省人化を実現します。



(DS-700) (DSS-300)

売上金入出金機

売上金入金機に出金機能を搭載した製品。入金された紙幣・硬貨を、つり銭用や両替用等に払出できるため、店内の資金効率を大きく向上させます。



(DSR-200)

多能式紙幣両替機

レジで使用されるつり銭用の紙幣・硬貨の準備に利用します。主にショッピングモールや百貨店等、レジ台数の多い店舗に導入されています。



(EN-700)

商品券入金機

発行元や金額の異なる商品券をまとめて読み取り、商品券番号等を記録します。選別・整理もスピーディーに行い、事務処理を効率化する製品です。



(GDS-100)

FOCUS!

※このコーナーでは、当社の製品ラインナップを分かりやすくご説明するために、様々な製品を一度にご紹介しております。

レジ周辺

レジつり銭機

レジスターと連動して預かり金を計数し、つり銭をすばやく払い出します。レジ周りの現金管理を一元化し、レジ担当者の負担を軽減するグローリーの主力製品です。



〈RT-300/RAD-300〉
〈WD-300〉

電子マネー共通読み取り端末 (マルチリーダー)

電子マネーの支払い、これ1台でOK。各種電子マネーの決済ができるマルチリーダーです。



〈PFM-10〉

レジつり銭機は「見える化」の時代へ

本年6月、新型硬貨レジつり銭機〈RT-300〉、紙幣レジつり銭機〈RAD-300〉、包装硬貨管理機〈WD-300〉の販売を開始。

近年、現金管理の厳正化ニーズの高まりを受け、レジつり銭機の導入は、スーパーマーケットだけでなく、飲食店、コンビニエンスストアや専門店にも広がりを見せ始めました。こうしたなか、当社は、レジつり銭機のさらなる拡販に向け、「見える化」をキーワードに、従来製品の機能を拡充した新製品を開発いたしました。

担当者の
声

国内事業本部 商品企画部
商品企画2グループ

企画
担当 金川 正幸

国内事業本部 流通営業統括部
営業二部 販売企画2グループ

販売
担当 森本 大介

本製品の企画は、使う人の立場になって改めて従来製品を見直し、課題を洗い出すことから始めました。そうしてたどり着いたのが、製品の状況や操作履歴を「見える化」する業界初のカラー液晶ディスプレイの搭載です。操作性においても、企画・販売の各担当者が一緒になって、様々な工夫を凝らしました。これまでレジつり銭機を使用したことがない方でも簡単に扱える、“世界一分かりやすい”レジつり銭機です。

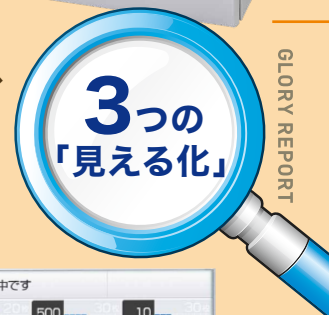


〈RT-300〉

〈RAD-300〉



〈WD-300〉



1 業界初の4.3インチ カラー液晶ディスプレイ

レジつり銭機内の紙幣・硬貨の残量、操作履歴等の様々な情報を、リアルタイムで確認することができます。また、万一のトラブル発生時には、復旧ガイダンスをアニメーションで分かりやすく表示します。



2 LEDガイドランプが 操作をサポート

紙幣と硬貨の投入場所・投出場所をLEDランプで分かりやすくガイド。現金の取忘れがあった場合にも、点灯してお知らせします。



硬貨入金口

3 予備のつり銭の在高を管理

包装硬貨管理機〈WD-300〉と接続することにより、予備の包装硬貨をレジごとに収納・管理できます。出し入れした包装硬貨の本数は自動で認識・記録され、在高は①のディスプレイでいつでも確認できます。



大容量の包装硬貨収納部

“One GLORY”の実現に向けて ～販売機能統合への取組み～

当社は、昨年7月、英国の子会社Glory Global Solutions Ltd.(以下、「GGS」)を通じて世界各国で貨幣処理機の製造・販売を展開する英国Talaris Topco Limited(以下、「タラリス社」)を買収し、現在、買収シナジーの創出に向けて取り組んでおります。その施策の一

つとして、両社グループの海外現地法人の再編を進め、本年4月よりGGSが当社グループの海外販売事業を統括する新体制をスタートさせました。

ここでは、販売機能の統合に向けた取組みについてご紹介いたします。

■ 直販エリア
■ 代理店販売エリア

タラリス社買収後の
グローリーグループの
直販・代理店網

販売網の統合により、 早期のシナジー創出を図ります

今回の買収によって、当社グループの直販・直メンテナンス網は世界20カ国以上、代理店網は世界100カ国以上となり、ビジネスチャンスが大きく拡大いたしました。この広範なネットワークを活用し、海外事業のさらなる拡大を図るには、販売体制の整備・再構築が急務です。そのためにまず、

海外事業本部
販売支援部 部長

坊垣 哲也

タラリスグループの販売担当者が、その強みである“高いソリューション提案力”を活かし、グローリー製品を拡販できる体制の整備に着手しました。研修を始め、グローリー製品に精通するエキスパート育成に向けた様々な取組みを展開しており、その成果は、徐々に現れ始めております。

グローリー製品の販売第1号は、 エジプトの代理店へ

販売機能統合に向けた取組み成果の第1号となった製品は、紙幣整理機(UW-500)。エジプト全土に展開するタラリスグループの販売代理店への販売でした。

販売
担当者の
声

Glory Global Solutions
東ヨーロッパ・中東・アフリカ
マネージングディレクター

Alex Chernyshov
(アレックス チェルニシヨフ)



紙幣整理機は、タラリス製品のラインナップにはありませんでしたが、以前よりお客さまからの要望が高い製品でした。グローリーとの統合により、製品ラインナップの厚みが増したことは、大きな強みとなっております。今回の販売は、タラリスグループがお客さまや代理店との間に築いてきた強固な信頼関係と、高品質なグローリー製品が相まって実現できたものと考えております。今後は、さらなる拡販に向けて取り組んでまいります。

達人道場 Expert Dojo

エキスパートを育てる「達人道場」を開設！

エジプトでの成功事例を受け、世界各国に在籍するGGGSの販売担当者の育成をサポートするため、
 本年4月に、当社社内^{エキスパート}に常設の研修室、「達人道場」を開設いたしました。

担当者の声

海外事業本部 販売支援部 DTPグループ グループマネージャー

開設リーダー
橋本 亨



新体制下において、タラリスグループの広範な販路を活用していくために、販売担当者がグローリー製品の販売に必要な知識やノウハウを得られるように支援していくことが、販売支援部の大きな使命だと考えております。この道場は、彼らが、実際に製品に触れながらそのコンセプトを理解し、顧客の課題を解決するソリューション提案力を高めていくことを狙いとしております。

「達人道場」の名には、武道のように、技術習得だけでなく自己精神を鍛錬しながら学んで欲しいという思いを込めました。日本のこの道場から、グローリーの海外事業の発展を担う販売のエキスパートを、世界中に送り出していまいります。

海外事業本部 販売支援部 DTPグループ(紙幣整理機担当)

インストラクター
長谷 いずみ



現在、「達人道場」では、製品ごとの担当インストラクター計6名が、月1回程度の頻度で研修を行っております。受講者は世界各国から集まるため、それぞれ市場環境も異なります。インストラクターは、各地域の特徴を理解しながら研修を進めることが大切なので、私にとっても毎日が勉強です。互いの経験を話し合いながら進めるこの研修では、新たな発見も多くあります。研修後には、「早く帰って、製品を売りたい!」という声上がり、今後の海外事業の拡大に向けて手応えを感じております。



製品を使って細かなノウハウを伝授

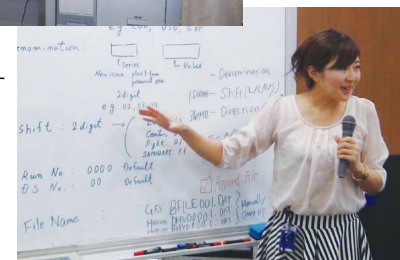
製品に関する技術をレクチャー

受講者の声



Glory Global Solutions
グローバル ビジネス テレロップメント 担当マネージャー

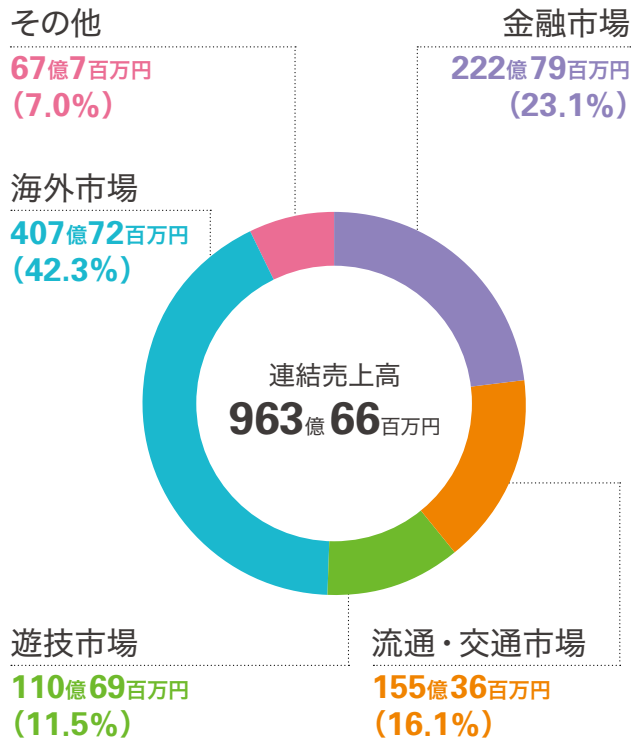
Gavin Doyle (ギャビン・ドイル)



今回の研修を通して、紙幣整理機を始めとするグローリー製品について詳しく学ぶことができました。特に、ソリューション提案に欠かさないソフトウェアについては、担当者から直接説明を受けたことで理解が深まりました。私たちGGGSの販売担当者と日本のチームとが密に協力していくことにより、今後、優れた新製品の開発や既存ラインナップの発展を実現できるものと確信しております。

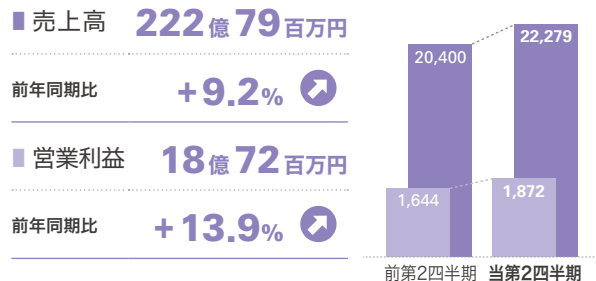
セグメント別の状況

(各期:4月1日~9月30日)



* ()内数値は構成比

金融市場



主な販売先: 国内の金融機関、日本郵政、OEM先

「オープン出納システム」の販売が堅調

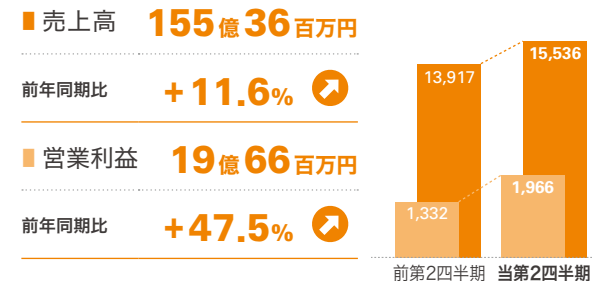
主要製品である「オープン出納システム」の販売は、従来タイプ、中小規模店舗向けのコンパクトタイプとも堅調でありました。また、窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は、更新需要を捉え順調でありました。

コンパクトオープン出納システム
(WAVE C30)



金融機関店舗の現金を一元管理する「オープン出納システム」のコンパクトタイプ。幅わずか99cmの省スペースボディに、中小規模店舗に必要な現金処理機能を全て搭載しました。

流通・交通市場



主な販売先: 国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社

「レジつり銭機」の販売が好調

流通市場向けの「紙幣両替機」や主要製品である「レジつり銭機」の販売が好調であり、警備輸送市場向けの「売上金入金機」の販売も順調に推移いたしました。

売上金入金機
(DSS-300)



スーパーマーケット等のバックオフィスで売上金を管理する、コンパクトサイズの売上金入金機。主に現金輸送サービスで用いられる製品です。

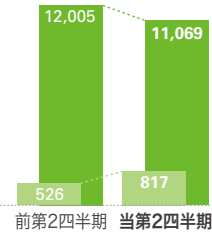
遊技市場

■ 売上高 **110億69百万円**

前年同期比 **-7.8%** ↓

■ 営業利益 **8億17百万円**

前年同期比 **+55.2%** ↑



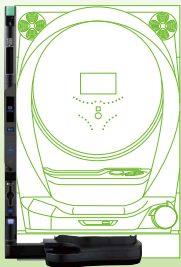
■ 主な販売先：国内の遊技場（パチンコホール等）

「カードシステム」の販売が低調

主要製品である「カードシステム」等の販売は、パチスロ人気の勢いに陰りが見られた影響等により低調でありました。営業利益は、プロダクトミックスの改善などにより増加いたしました。

G8 EX-SIM

PAPIMO対応
各台計数
ユニット
〈JCP-210〉



液晶タッチパネルを搭載した各台計数ユニット。パチンコ玉の払出し、貯玉、再プレイ等の操作が画面にタッチして簡単にできます。

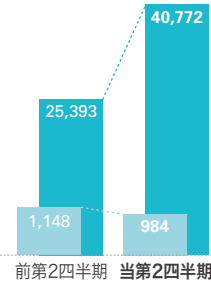
海外市場

■ 売上高 **407億72百万円**

前年同期比 **+60.6%** ↑

■ 営業利益 **9億84百万円**

前年同期比 **-14.3%** ↓



■ 主な販売先：海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先

タラリスグループの販売が加わり、販売は大幅に増加

OEM商品であるATM用「紙幣入金ユニット」の販売は低調であったものの、中国を始めとする新興国において「紙幣整理機」等の販売が好調でありました。また、当第2四半期連結累計期間は、タラリスグループの販売が加わったうえに円安効果もあり、市場全体としても前年同期に比べ大幅に増加いたしました。営業利益は、タラリスグループ買収に伴うのれん等の償却費負担により減少いたしました。

紙幣整理機〈USF-50〉



金融機関の窓口等で使用する紙幣整理機。コンパクトながら、紙幣の真偽判別や正損選別^{*}等の機能を搭載しており、現在新興国での販売が拡大しています。

^{*}正損選別：傷んだ紙幣を仕分けること

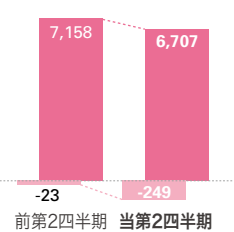
その他

■ 売上高 **67億7百万円**

前年同期比 **-6.3%** ↓

■ 営業損失 **2億49百万円**

前年同期は営業損失 **23百万円** ↓



■ 主な販売先：国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、民間企業



開票所で稼働する
〈GTS-1000〉

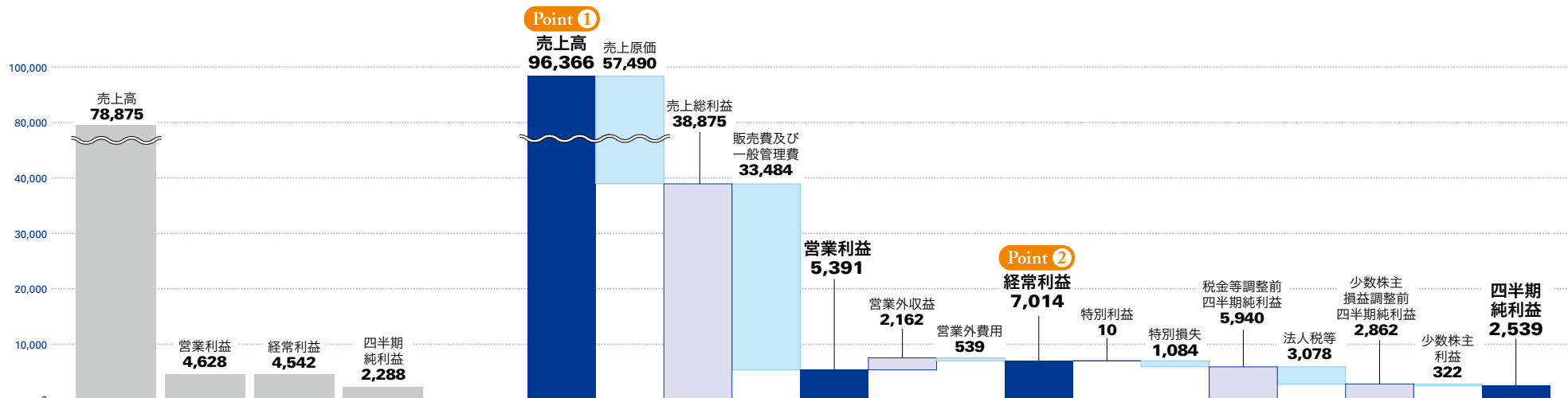
自書式投票用紙分類機が参議院議員選挙の開票で活躍
自書式投票用紙分類機〈GTS-1000〉は、投票用紙の読取りや分類、計数はもちろん、表裏・天地の向きも自動で整理する、開票作業の強い味方。本年7月に行われた参議院議員選挙では、本製品を含むGTSシリーズが全国各地の自治体で稼働し、開票作業の省力化とスピードアップに大きく貢献しました。

財務データ

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

前第2四半期(累計) (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

当第2四半期(累計) (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)



四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

前期末 平成25年3月31日現在	当第2四半期末 平成25年9月30日現在	前期末 平成25年3月31日現在	当第2四半期末 平成25年9月30日現在
資産合計 319,077	資産合計 320,824	負債・純資産合計 319,077	負債・純資産合計 320,824
流動資産 151,870	流動資産 147,184	負債 150,612	Point 3 負債 143,166
固定資産 167,206	固定資産 173,639	純資産 168,464	Point 4 純資産 177,658

Point

① 売上高

昨年7月に買収したタラリスグループの販売が加わったことや円安効果により海外市場が大きく伸びるとともに、国内の金融市場、流通・交通市場の販売も順調であり、前年同期に比べ22.2%増加しました。

② 経常利益

売上高の増加や売上原価率の改善による営業利益の増加に加え、為替差益も発生し、前年同期に比べ54.4%増と大幅に増加しました。

③ 負債

短期借入金の減少(46億56百万円)、長期借入金の減少(27億68百万円)等により、前期末に比べ74億46百万円減少しました。

④ 純資産

利益剰余金の増加(10億66百万円)に加え、円安の影響により為替換算調整勘定が78億71百万円増加したことにより、前期末に比べ91億93百万円増加しました。

会社情報

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,371名(連結 7,810名)
事業所	
本社・本社工場	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079(297)3131(代表) FAX:079(294)6233
東京本部	〒101-8977 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX TEL:03(5207)3100
品川事業所	〒141-8581 東京都品川区大崎五丁目4番6号 TEL:03(3495)6301
埼玉工場	〒347-0004 埼玉県加須市古川二丁目4番地1 TEL:0480(68)4661
支店等	7支店:東北支店(宮城県)、東日本支店(埼玉県)、 首都圏支店(東京都)、東海支店(愛知県)、 近畿支店(大阪府)、中四国支店(広島県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター・姫路パーツセンター 41営業所・27出張所・4サービスセンター
グループ会社	グループ総数 53社(国内 13社 海外 40社)

役員一覧

取締役

代表取締役会長	西野秀人
代表取締役社長	尾上広和
取締役相談役	尾上壽男
取締役	山口義行
取締役	三和元純
取締役	吉岡徹
社外取締役	佐々木宏機
社外取締役	新島昭

監査役

常勤監査役	中塚良幸
常勤監査役	大谷俊彦
社外監査役	竹田佑一
社外監査役	中上幹雄

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

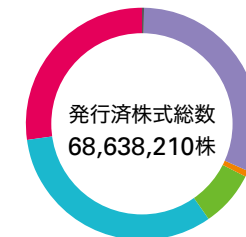
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株(自己株式 2,950,813株を含む)
株主数	9,063名(前期末比 1,700名増)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	5,606	8.2
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,534	3.7
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	1,897	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,847	2.7
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,585	2.3
タツポーフッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,159	1.7
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	940	1.4

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,950,813株があります。

所有者別株式分布状況



政府・地方公共団体	0.2%
金融機関	31.6%
金融商品取引業者	0.8%
その他の法人	7.8%
外国法人等	32.6%
個人・その他	27.0%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 [公告掲載URL] http://www.glory.co.jp

株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
〔各種お問合せ先 / 郵便物送付先〕	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
〔ウェブサイトアドレス〕	http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 当社は東京・大阪両証券取引所に上場しておりましたが、大阪証券取引所は平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、当社の上場証券取引所は東京証券取引所となっております。

「グローリー CSR報告書2013」のご案内

本年8月、CSRへの取り組みをまとめた「グローリー CSR報告書2013」を発行いたしました。当社ウェブサイトの「CSR」ページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

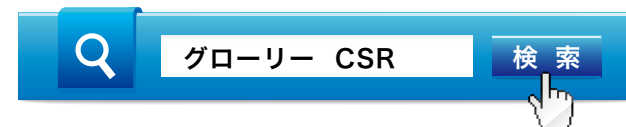
ウェブサイト「CSR」ページ



こちらからCSR報告書
をご覧ください



 <http://www.glory.co.jp/csr/>



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。